

# 特集 平成26年度 学校保健統計調査結果の概要

## 【佐賀県 統計分析課 加工分析担当】

■詳細については下記ホームページでもご覧になれます。

[さが統計情報館 統計データ検索サイト](#)

検索 

■報告書については統計分析課内行政資料室にありますので、ご活用ください。

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的としている。

### 2 調査事項

- (1) 幼児、児童及び生徒の発育状態（身長、体重及び座高）
- (2) 幼児、児童及び生徒の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

### 3 調査対象

幼稚園、小学校、中学校、高等学校のうち、文部科学大臣が指定する学校。

調査実施学校数、調査対象幼児・児童・生徒数は、次のとおりである。

区分	学校数 (校)	幼児・児童 生徒数 (人)	調査実施 学校数 (校)	調査対象者数 (人)	
				発育状態	健康状態
幼稚園	104	9,560	29	989	1,418
小学校	174	47,786	57	5,286	26,190
中学校	99	26,785	37	4,273	14,751
高等学校	45	25,711	24	2,064	15,432

注) 1 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

- 2 中学校には中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の課程をそれぞれ含む。(以下同じ。)

### 4 調査の期日

平成26年4月から6月までの間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査した。



## Ⅱ 調査結果の概要

### 発 育 状 態

#### 1 身長・体重・座高の平均値

平成26年度及び平成25年度の幼稚園、小学校、中学校、高等学校における幼児、児童及び生徒の身長・体重・座高の平均値を年齢別にみると、表1のとおりである。

表1 年齢別、身長・体重・座高の平均値

区 分		身 長 (cm)				体 重 (kg)				座 高 (cm)			
		男		女		男		女		男		女	
		H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25
幼 稚 園	5歳	110.2	110.2	109.6	109.5	18.7	18.8	18.6	18.7	61.9	61.9	61.4	61.5
小 学 校	6歳	116.5	116.7	115.6	115.1	21.5	21.6	21.0	20.8	65.0	64.9	64.5	64.2
	7	122.3	122.2	121.1	121.5	24.0	24.0	23.4	23.7	67.5	67.7	67.0	67.4
	8	127.6	128.0	127.4	126.8	26.8	27.1	26.7	26.3	70.0	70.3	70.1	69.8
	9	133.6	133.4	133.5	133.2	30.5	30.0	30.4	29.7	72.7	72.6	72.9	72.7
	10	138.3	138.4	140.6	139.9	33.1	34.2	34.6	34.3	74.6	74.7	76.1	75.7
	11	144.9	144.3	146.5	147.0	38.6	37.9	39.2	38.9	77.6	77.2	79.3	79.3
中 学 校	12歳	152.3	151.7	151.8	151.6	44.2	43.6	44.7	44.3	81.3	80.8	82.2	82.0
	13	159.3	159.2	154.4	154.6	48.7	48.9	47.4	48.0	84.7	85.0	83.7	83.9
	14	164.8	164.8	156.1	156.2	53.9	53.6	50.8	50.3	87.9	88.0	84.9	85.0
高 等 学 校	15歳	167.7	168.2	156.4	156.9	58.4	59.3	51.2	52.7	90.0	90.2	85.0	85.5
	16	169.6	168.8	157.8	157.5	61.3	60.2	53.9	53.5	91.3	90.9	85.8	85.8
	17	170.1	170.5	157.5	157.1	62.5	63.9	52.5	52.5	91.7	92.0	85.4	85.5

注) 1 下線の部分は調査実施以来最高を示す。以下の各表において同じ。

2 年齢は、平成26年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

## 2 身長推移

- ① 身長推移をみると、表2のとおり、男女ともここ数年ほぼ横ばい傾向を示している。
- ② 親の世代である約30年前（昭和59年度）と比較すると、男子の身長は、6歳で0.5cm、11歳で2.1cm、14歳で1.9cm、17歳で0.6cm高くなっている。  
女子の身長は、6歳で0.4cm、11歳で1.3cm、14歳、17歳で0.1cm、30年前より高くなっている。
- ③ 下表の年齢区分で全国と比較すると、女子の6歳で全国平均を上回っている。

図1 身長推移

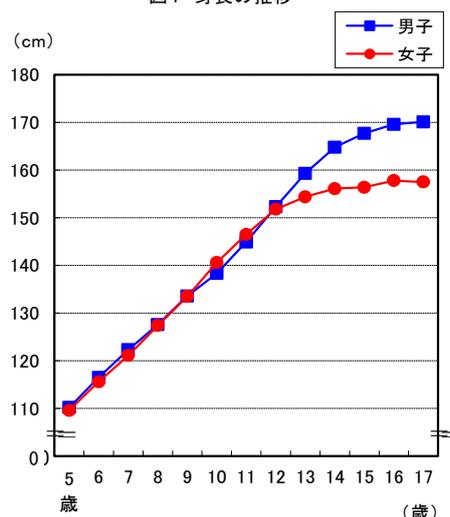


表2 身長推移（佐賀県、全国）

(単位：cm)

区分	佐賀県							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和59年	116.0	142.8	162.9	169.5	115.2	145.2	156.0	157.4
平成6	116.4	144.5	163.9	169.8	115.8	146.6	156.3	157.3
16	116.7	144.9	164.8	170.1	115.8	146.4	156.4	157.3
21	116.1	144.4	164.5	169.8	115.4	146.8	156.2	157.3
22	116.3	145.0	164.8	170.6	115.9	146.8	156.4	157.2
23	116.2	144.6	164.7	170.7	115.6	147.3	156.2	158.0
24	116.3	144.6	164.6	170.3	115.6	146.7	156.4	157.6
25	116.7	144.3	164.8	170.5	115.1	147.0	156.2	157.1
26	<b>116.5</b>	<b>144.9</b>	<b>164.8</b>	<b>170.1</b>	<b>115.6</b>	<b>146.5</b>	<b>156.1</b>	<b>157.5</b>

(単位：cm)

区分	全国							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和59年	116.3	143.2	163.6	170.2	115.6	145.4	156.2	157.6
平成6	116.8	144.9	165.1	170.9	116.1	146.7	156.6	158.1
16	116.8	145.1	165.3	170.8	115.8	146.9	156.7	157.9
21	116.7	145.1	165.2	170.8	115.8	146.9	156.7	157.9
22	116.7	145.0	165.1	170.7	115.8	146.8	156.5	158.0
23	116.6	145.0	165.1	170.7	115.6	146.7	156.6	158.0
24	116.5	145.0	165.1	170.7	115.6	146.7	156.5	158.0
25	116.6	145.0	165.0	170.7	115.6	146.8	156.5	158.0
26	<b>116.5</b>	<b>145.1</b>	<b>165.1</b>	<b>170.7</b>	<b>115.5</b>	<b>146.8</b>	<b>156.4</b>	<b>157.9</b>

### 3 体重の推移

① 体重の推移をみると、表3のとおり男女とも、ここ数年ほぼ横ばい傾向を示している。

② 約30年前（昭和59年度）と比較すると、男子の体重は、6歳で0.8kg、11歳で3.3kg、14歳で2.5kg、17歳で2.5kg重くなっている。

女子の体重は、6歳で0.6kg、11歳で2.0kg、14歳で1.7kg30年前より重くなっている。

③ 下表の年齢区分で全国と比較すると、男子では6歳と11歳、女子では6歳、11歳、14歳で全国平均を上回っている。

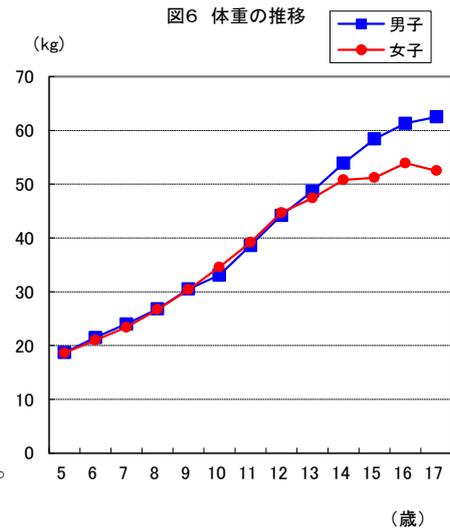


表3 体重の推移（佐賀県、全国）

(単位：kg)

区分	佐賀県							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和59年	20.7	35.3	51.4	60.0	20.4	37.2	49.1	52.7
平成6	21.3	38.0	53.4	61.5	20.9	39.0	50.1	53.4
16	21.5	38.8	54.6	62.3	21.0	39.0	50.6	53.7
21	21.2	37.7	54.0	61.5	21.0	39.0	50.6	54.5
22	21.4	38.2	54.4	63.9	21.0	39.4	50.5	52.8
23	21.3	37.5	54.0	63.8	20.9	39.5	49.8	53.8
24	21.2	37.3	54.2	62.8	21.1	39.3	49.6	53.3
25	21.6	37.9	53.6	63.9	20.8	38.9	50.3	52.5
26	<b>21.5</b>	<b>38.6</b>	<b>53.9</b>	<b>62.5</b>	<b>21.0</b>	<b>39.2</b>	<b>50.8</b>	<b>52.5</b>

(単位：kg)

区分	全国							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和59年	21.1	36.4	52.8	61.5	20.7	37.7	49.7	52.7
平成6	21.6	38.4	54.6	62.9	21.2	39.4	50.5	53.1
16	21.6	39.0	55.2	63.5	21.1	39.6	50.7	53.5
21	21.5	38.4	54.3	63.1	21.0	39.0	50.2	52.9
22	21.4	38.4	54.4	63.1	21.0	39.0	50.0	52.9
23	21.3	38.0	54.2	63.1	20.8	38.8	49.9	52.8
24	21.3	38.2	54.2	62.9	20.9	38.9	49.9	52.9
25	21.3	38.3	54.0	62.8	20.9	39.0	49.9	52.9
26	<b>21.3</b>	<b>38.4</b>	<b>53.9</b>	<b>62.6</b>	<b>20.8</b>	<b>39.0</b>	<b>50.0</b>	<b>52.9</b>

# 健康状態

## 主な疾病・異常の推移

疾病・異常のうち主なものについて、およそ10年間の推移をみると表4のとおりである。

表4 主な疾病・異常の推移

(単位：%)

	区 分	むし歯 (う歯)	裸眼視力1・0 未満の者	鼻・副鼻腔疾患	耳疾患	心電図異常	ぜん息	蛋白検出の者	寄生虫卵保有者
幼稚園	平成16年度	66.0	10.4	4.2	3.2	…	0.9	1.0	0.3
	22	59.3	X	2.0	5.4	…	1.3	0.7	0.4
	23	54.3	X	10.3	4.9	…	3.6	1.3	0.1
	24	57.3	X	X	3.4	…	1.1	-	0.0
	25	52.4	X	2.7	5.5	…	1.1	1.4	0.2
	26	45.9	X	2.4	2.1	…	3.2	-	0.3
小学校	平成16年度	79.4	27.7	11.7	4.6	3.4	1.4	0.2	1.7
	22	64.5	31.9	14.4	6.0	3.9	3.2	0.6	1.1
	23	62.9	32.0	12.1	5.8	5.7	1.9	1.3	0.7
	24	59.9	32.7	12.5	6.0	5.0	2.0	0.5	1.0
	25	60.5	30.9	12.6	7.1	4.1	1.9	0.5	0.7
	26	59.8	31.9	13.7	6.2	4.9	3.3	0.9	0.7
中学校	平成16年度	72.4	50.5	9.7	2.5	6.6	1.4	1.6	-
	22	48.1	55.9	12.9	4.9	5.0	2.1	1.5	…
	23	46.6	49.6	11.9	4.0	5.4	1.4	1.4	…
	24	44.0	56.3	13.8	3.4	5.3	1.5	1.7	…
	25	39.8	48.8	13.2	4.3	6.5	1.5	1.6	…
	26	35.1	51.1	13.3	4.5	5.9	1.4	2.1	…
高等学校	平成16年度	85.0	61.6	8.6	1.9	5.1	1.4	0.8	-
	22	69.5	64.8	12.7	1.8	5.4	1.7	2.6	…
	23	64.5	53.5	14.2	2.3	6.1	1.2	1.7	…
	24	64.1	64.1	14.3	1.9	4.3	2.0	1.7	…
	25	62.7	X	13.3	2.4	6.0	1.3	1.8	…
	26	55.3	53.4	13.8	2.2	5.3	1.2	2.0	…

注) 1. 「-」は計数が0の場合。「0.0」は係数が0ではないが表示単位未満の場合。

「…」は調査対象とならなかった場合。

2. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

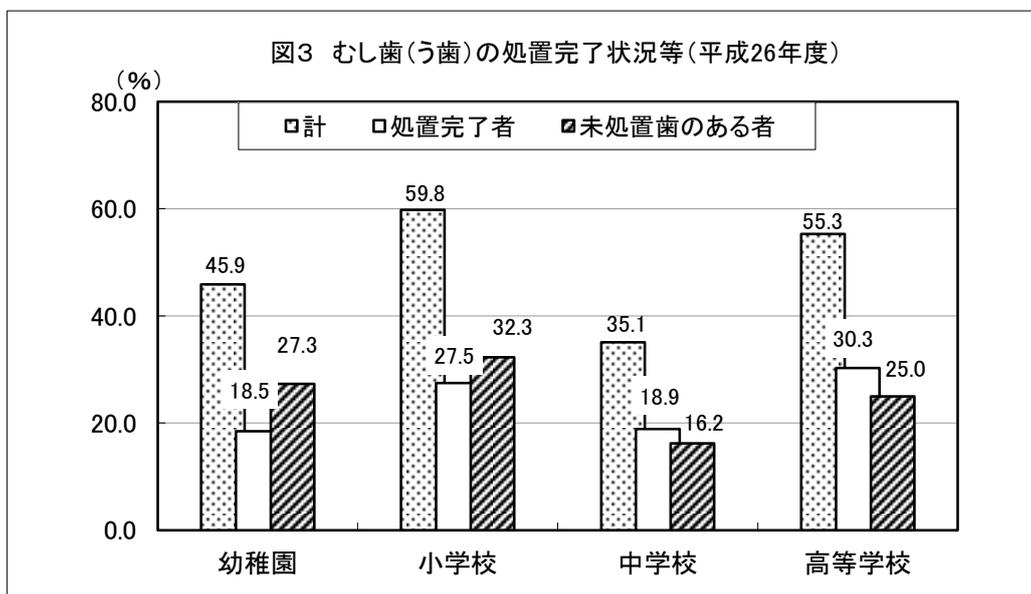
(1) むし歯（う歯）の被患率

「むし歯（う歯）」について、「処置完了者」と「未処置歯のある者」に区分してみると、表5のとおりである。

むし歯の被患率（治療済みの者を含む）は、幼稚園45.9%（全国38.5%）、小学校59.8%（全国52.5%）、中学校35.1%（全国42.4%）、高等学校55.3%（全国53.1%）となっており、中学校を除いて全国平均を上回っている。

表5 むし歯（う歯）の処置完了状況等の推移 (単位：%)

区 分		年 度	H16	22	23	24	25	26	全 国 (H26)
幼稚園	計		66.0	59.3	54.3	57.3	52.4	45.9	38.5
	処置完了者		22.9	20.2	21.4	22.1	24.1	18.5	15.7
	未処置歯のある者		43.0	39.1	32.9	35.2	28.3	27.3	22.8
小学校	計		79.4	64.5	62.9	59.9	60.5	59.8	52.5
	処置完了者		32.6	26.6	26.2	26.5	26.7	27.5	26.2
	未処置歯のある者		46.8	37.8	36.7	33.4	33.8	32.3	26.3
中学校	計		72.4	48.1	46.6	44.0	39.8	35.1	42.4
	処置完了者		35.9	27.1	23.1	22.3	21.0	18.9	23.8
	未処置歯のある者		36.5	21.0	23.5	21.7	18.9	16.2	18.5
高等学校	計		85.0	69.5	64.5	64.1	62.7	55.3	53.1
	処置完了者		42.7	34.4	35.8	33.5	31.1	30.3	30.5
	未処置歯のある者		42.3	35.1	28.8	30.6	31.5	25.0	22.6



(2) 裸眼視力1.0未満の被患率

裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校31.9%（全国30.2%）、中学校51.1%（全国53.0%）、高等学校53.4%（全国62.9%）となっており、小学校で全国平均を上回っている。

10年前（平成16年度）と比較すると、小学校では4.2ポイント高くなっており、裸眼視力0.3未満の者は、10年前より3.1ポイント高くなっている。

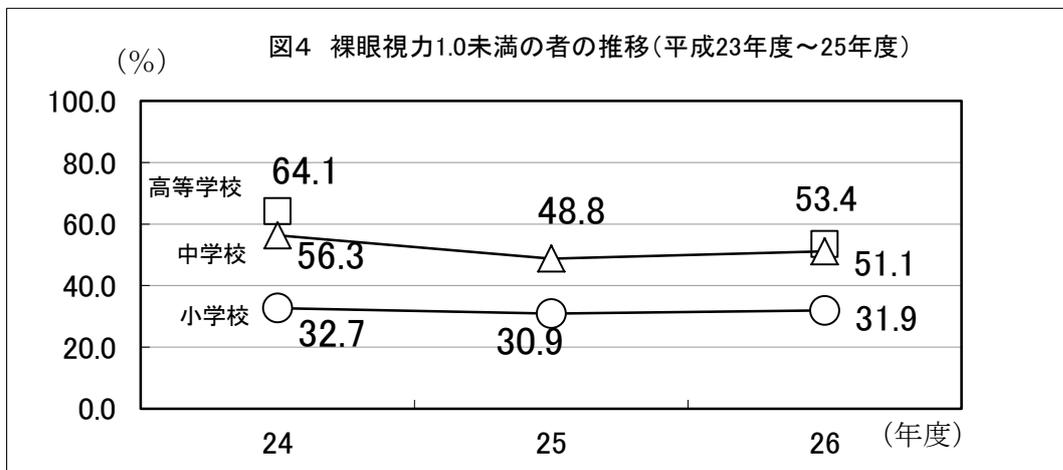
表6 裸眼視力1.0未満の者の推移

(単位：%)

区分 \ 年度		H16	22	23	24	25	26	全国 (H26)
幼稚園	計	10.4	X	X	X	X	X	26.5
	1.0未満0.7以上	9.3	X	X	X	X	X	17.6
	0.7未満0.3以上	1.1	X	X	X	X	X	8.0
	0.3未満	-	X	X	X	X	X	1.0
小学校	計	27.7	31.9	32.0	32.7	30.9	31.9	30.2
	1.0未満0.7以上	11.8	11.8	12.2	11.5	11.2	11.0	10.7
	0.7未満0.3以上	10.1	11.8	11.6	12.4	11.2	11.9	11.3
	0.3未満	5.9	8.4	8.2	8.7	8.5	9.0	8.1
中学校	計	50.5	55.9	49.6	56.3	48.8	51.1	53.0
	1.0未満0.7以上	11.0	9.6	10.8	11.1	9.3	12.1	11.3
	0.7未満0.3以上	16.4	17.8	16.6	16.6	18.6	16.3	16.8
	0.3未満	23.0	28.5	22.3	28.6	21.0	22.7	25.0
高等学校	計	61.6	64.8	53.5	64.1	X	53.4	62.9
	1.0未満0.7以上	10.6	X	12.2	X	X	X	11.5
	0.7未満0.3以上	14.0	X	13.8	X	X	X	15.5
	0.3未満	37.1	X	27.4	X	X	X	35.8

注) 「-」は計数が0の場合。

「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上または受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。



注) 幼稚園及び平成25年度の高等学校の値は、X表示のため表示していない。

■ 全国の結果及び都道府県別の結果については、文部科学省のホームページに掲載されています。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm)  
 (文部科学省ホームページ → 白書・統計・出版物 → 統計情報 → 学校保健統計調査)